

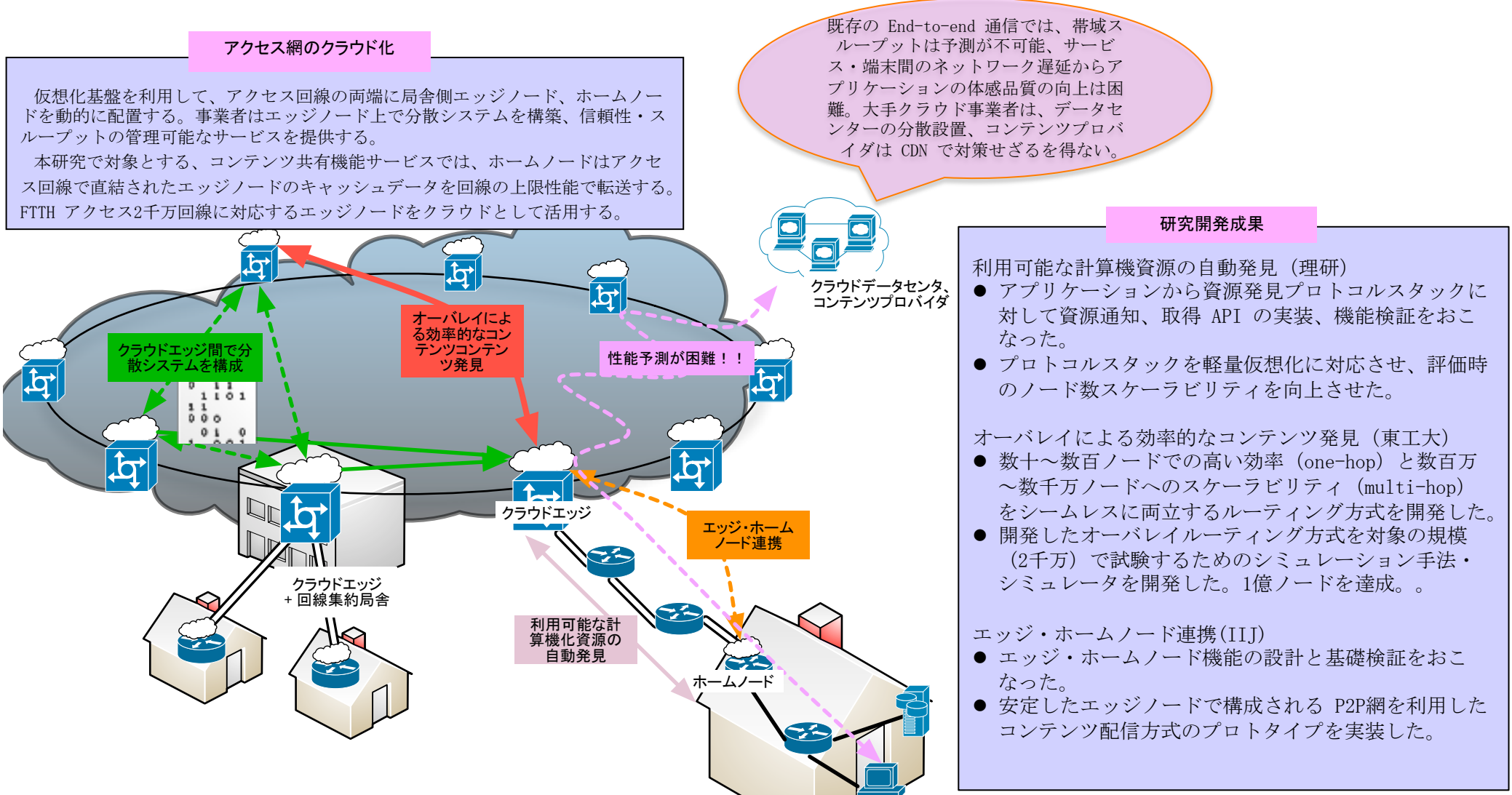
平成24年度「大規模コンテンツ配信基盤を実現するアクセス網のクラウド化」の研究開発目標・成果と今後の研究計画

1. 実施機関・研究開発期間・研究開発費

◆ 独立行政法人理化学研究所(幹事者)、国立大学法人東京工業大学、株式会社インターネットイニシアティブ

2. 研究開発の目標(24年9月)

それぞれのエッジサーバに対応するアクセス回線利用者の占有的な利用に必要な機能を実装する。さらに、2千万ノードを超えるエッジノードによるアクセス網クラウドの利用に耐える分散処理基盤を実現する。



4. これまで得られた成果(特許出願や論文発表等) ※成果数は累計件数と()内の当該年度件数です。

	国内出願	外国出願	研究論文	その他研究発表	プレスリリース	展示会	標準化提案
大規模コンテンツ配信 基盤を実現するアクセ ス網のクラウド化	0	0	21(15)	14(5)	0	1(1)	0

5. 研究成果発表会等の開催について

特になし

6. 今後の研究開発計画

- 開発したクロスレイヤ資源発見プロトコルスタックの公開を通じ、方式の普及を図る。
- 2千万回線規模のエッジノードで構成されるアクセス網クラウドを含む分散システムを検証可能なシミュレーション方式を確立する。
- エッジ・ホームノードモデルのサービスへて適用方法について検討し、現在および将来の事業に活用していく。